

京都市地区小学校教科書選定委員会 答申

「生活科」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。
- 4 具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。
- 5 生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい生活」

各単元では、身近で取り組みやすい学習活動や教材が重点的に取り上げられており、生活をよりよいものにしていく思いや願いを実現することができるよう工夫されている。

単元冒頭では、A4版のページをダイナミックに使って、学習内容を想起させる表情豊かな写真を示したり、「なにがつくれるかな」といった問いを投げかけたりすることで、活動や体験に向けた児童の意欲を喚起している。また、単元内で示される学習活動例は、児童が「見つける」「くらべる」などの気付きにつながるまでの様子を示しており、すべての単元が試行錯誤しながら思いや願いを実現する学習活動で構成されており、優れている。

学習の各段階においては、体験したことを表現する場面が頻繁に設定されており、体験と表現を繰り返しながら、次の活動に主体的に取り組むという流れを重視した単元構成となっているが、表現方法を豊富に示すための工夫という点では、不十分な面が見られる。

巻末に学習に必要な知識や技能を掲載した「べんりてちょう」と、実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」が設けられ、児童の知的好奇心を満たしつつ、実生活でも活用できる習慣や技能を身に付けるとともに、学んだことを生かして自らの課題を解決しやすいよう工夫されており、優れている。

他教科等との関連については、活動にあたっての豊かな対話に向けた工夫や、ものの長さを比べる手法など、他教科等の学習内容や技能と関わる事項が単元内に枠組みで示されており、他教科等と関連付けた指導が展開しやすい。また、乳幼児期の学びを意識しながら、入学当初の合科的・関連的な学習活動の様子を具体的に示したり、3年生以降の学習との接続を意識した具体的な事例を示したりするなど、学びの接続に向けた配慮がなされている。

■大日本図書「たのしいせいかつ」

児童の生活圏にあるものを学習対象とし、児童の活動例や発言例を豊富に示して学習が深まるよう工夫されているが、単元を通した学習の流れがイメージしにくく、学習の見通しをもたせる点で、十分な工夫が見られない。

単元冒頭では、見開きページ全体で、学習内容や活動を想起させる大胆な構成の写真を示すなど、児童の関心を引き付けるとともに、児童の思いや願いを基に学習がスタートするような発言例を示すことで、学習意欲を喚起するよう工夫されている。

単元内では、児童目線の写真や、表情や動作と共に学習の様子を伝える写真が多く掲載され、児童の好奇心と活動意欲を引き出すとともに、体全体を使って学習対象と関わることを促している。また、話し合い活動などの交流の様子をイラストや写真で示すとともに、「せいかつことば」のコーナーで、雨の降り方や歩く様子を表す擬音語や擬態語を紹介するなど、表現を豊かにする手がかりを示し、充実した交流活動が展開されるようよく工夫されている。

また、巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、観察の視点や公共のルール、調べ方や伝え方などが具体的に示されており、学習活動や日常生活において活用できる技能を身に付けられるよう工夫されている。

単元内で示された児童の活動例の中で、特に他教科等との関連が深いものについては、教科名が明示されるなど、他教科等と関連付けた指導が展開しやすいよう、よく工夫されている。

また、乳幼児期に慣れ親しんだ活動を取り入れ、安心できる環境づくりを意識しながら、合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成が可能となる構成となっている。さらに、3年生以降の学習についてもこれまでの成長を振り返り、児童が自信をもって臨めるよう工夫されている。

■学校図書「しょうがっこう せいかつ」

単元が4段階で構成され、単元内の各ページにも学習段階が明示されるなど、単元を通して学習の見通しをもてるよう工夫されている。また、学習段階に応じて、複数の素材や教材、具体例が示され、児童の実態、興味に応じて選択できるよう配慮されている。

単元冒頭では、表情豊かな臨場感あふれる写真を提示するとともに、活動のポイントを児童が疑問形で伝え合う挿絵を示すなど、活動の内容や流れを分かりやすく示すことで、児童の活動意欲を引き出すよう工夫されている。また、単元内の各所で児童が課題を解決したり、考えを広げたり深めたりする様子を示すことで、学習への期待感をもてるよう工夫している。

全体を通して「見つける」「くらべる」「たどる」「試す」「見通す」「工夫する」等の活動例が、イラストで示されるとともに、秋の遊びや動くおもちゃの単元では、試行錯誤を行う場面が意図的に設定されるなど、児童が考えて行動する手がかりになるよう工夫されている。

一方、4人の主要な児童の交流場面を通して、伝え合う姿や方法を示すなど、児童の交流活動を促しているが、豊かな表現方法等を提示する点では工夫が不十分である。

巻末の「学び方図鑑」では、「話す」「聞く」「考える」「書く」「発表する」など、活動にあたって必要な知識や技能が示されており、日常生活においても生かせるよう工夫されている。また、話す、聞く、書くなどの国語的要素を重視し、手紙や作文を書くなどの表現活動を通して他教科との関連を図るなどの工夫が見られる。

入門期単元では、学校生活における子どもの不安な場面やその対処法、また、自分でできることに自信をもてるような場面を示すなどの配慮がなされている。

■教育出版「せいかつ」

学習を通して引き出したい力を「きづく」「かんがえる」など6つの力に分類し、単元内では学習内容ごとに重視する力をマークで示すなど、学習の重点事項を意識できるよう工夫されている。

単元内では、地域の習慣や行事に目を向ける活動や資料が示され、児童が生活や身近な地域に目を向けることができるよう配慮されている。また、知りたいことを整理する、見付ける、比べる等の学習活動を随所に示したり、自分自身で活動方法や調べることを決定・選択する場面を設けたりすることで、児童の探究したい気持ちや課題意識を引き出し、主体的に楽しみながらそれらを解決する活動となるよう工夫されている。交流の場面では、児童の作品を示しながら、話し合いの流れや内容等の具体例を示すことで、様々な交流の仕方を想起することができるよう配慮されている。

また、上下巻を通して登場するキャラクターの問いかけや、単元末の振り返り活動を通して、学習の成就感を感じながら探究意欲を深めるとともに、巻末の「学びのポケット」では、「見よう」「考えよう」や「しらべよう」など、学習で重視される知識や技能のほか、関連図書も示され、学習したことを日常生活で生かすことができるよう工夫されている。

就学前の姿や乳幼児期の学びと各教科等への円滑な移行についてイラストで具体的に示し、
合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定などをイメージできる構成としている。また、

3年生の学習を見に行く活動を設定したり、「はってん」で学習のつながりを明示したりするなど、中学年以降の学びに配慮している。

■信州教育出版社「せいかつ」

地域に密着した教材や資料を豊富に示し、身近な生活感をもちながら、児童同士の学び合いや情報交換が進むよう、単元構成が工夫されている。また、郷土食や伝統行事、自然の中での季節の遊びを意識的に取り上げながら、体験と表現を重ねることで、活動の楽しさや満足感を感じることができるよう工夫されている。

単元冒頭では、児童の活動意欲を高めるよう、教科書の見開き全面に単元を象徴する写真や挿絵が掲載されているが、児童の多様な思いや願いが実現される学習の流れになるような工夫が見られない。

単元内で示される、児童が対話する様子を表すイラストでは、話している内容を文字のみで表すのではなく、文字と児童の動作等とを併用して、伝えようとしている内容を想起させるなどの工夫が見られる。一方で、児童の思考を促すような活動が見えにくく、例示されているカードなども同じ様式で統一されていたりするなど、子どもの試行錯誤を促したり、繰り返して取り組む意欲を高めるための工夫が不十分である。

学習内容に即して、イラストや吹き出しで、安全面での配慮事項や挨拶、話し方などの知識・技能が具体的に示されており、日常生活の場面で自然に実践できるよう工夫されている。また、巻頭で児童の家族を紹介したり、家族との触れ合いの場面を随所に示すなど、生活科の学習について、家庭で話したり生かしたりできるよう配慮されている。

また、入学期の子どもの発達の特徴を考慮し、遊びや活動を重視して総合的に授業を展開できるよう工夫しているが、上巻巻頭で小学校生活の様子を具体的に示したり、入学後の意欲や安心感を与えたりする点での工夫が不十分である。

■光村図書「せいかつ」

単元は3段階構成で、単元冒頭では、各段階の具体的な活動と共に学習の流れが提示され、単元内においても、活動がどの段階の学習であるかが明示されるなど、児童は見通しをもって学習を進めることができる。また、児童が自己の経験や生活の実態に即して活動し、知識や技能が身に付くような学習の流れとなっており、学習の振り返りなどを通して、学んだことを自然に日常生活に生かせるようよく工夫されている。

単元名、小単元名は児童の活動意欲を喚起するよう工夫された言葉で示されるとともに、写真やイラストを効果的に配置することで、児童の学習意欲を喚起している。単元内においては、学習活動に関連した知識や技能を示す「どうすれば」のコーナーを設け、児童自らが問題解決の手がかりをつかみ、思考力を高められるよう工夫されている。また、グループやクラスで話し合う姿や、気づきを表現したカード例、児童の発言例を示すことで、児童が表現の手がかりを掴むことができ、豊かな交流活動に繋がられるよう配慮されている。

各単元の振り返りでは、シールに表して所定のページに貼り付け、巻末には、そのシールを一箇所に集めて、視覚的にも学習の成就感を感じながら振り返る活動が提示されるなど、優れ

ている。巻末の「せいかつじてん」では、イラストを用いて、挨拶や言葉遣い、公共ルール、生活リズムなどについて示されており、生活上必要な習慣や技能が自然と身に付くよう、よく工夫されている。

他教科等との関連については、アサガオの種を数える写真や飼育している動物を粘土で作る活動など、合科的・関連的な指導の具体を随所に示すとともに、道徳的な意識が自然と芽生えるよう道徳科との連携も意識されている。また、乳幼児期の学びを小学校の学習につなぐ入学当初の学習活動を位置付け、子どもが安心感と自信、期待感をもって学校生活を始められるよう配慮し、さらに中学年以降の学習に結び付けていける活動を豊富に示している。

■啓林館「せいかつ」

単元が3段階で構成され、単元内の各ページにも学習段階が明示されるとともに、見開きページ右下には次の活動に繋がるリードが明示されており、児童は活動の連続性や広がり、深まりを意識することができる。

単元冒頭では、「わくわくボックス」で学習内容に関する資料が示されているが、活動の内容や方法が限定的に示される傾向があり、児童の多様な思いや願いを受けるという視点においては、工夫が不十分である。

一方で、冬に関する単元では、雪と風の両方を取り扱うなど、地域の実態に合わせた学習を選択できるよう配慮されている。また、おもちゃの単元や町探検の単元などでは、児童の興味や関心を重視して、繰り返し対象と関わったり、試行錯誤したりする活動が豊富に掲載されている。

単元内の伝え合いや交流の場面では、ブース形式で調べたことを伝える活動など、多様な形態が示されており、児童、教員ともに、伝え合う活動のイメージをもつことができ、優れている。また、単元内の「こんなとき どうしよう」などにおいては、基本的な知識及び技能やマナー、安全に関する注意事項を示し、学習や生活で生かせるよう工夫されている。

他教科等との関連については、各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮し、学習活動の充実を図ることが重視され、合科的・関連的な指導が可能な学習活動には、そのマークを付すなど、よく工夫されている。また、巻頭のスタートブックの配置に加え、入学当初だけでなくその後の単元においても乳幼児期の育ちを生かすよう配慮されるとともに、生活科の学習を振り返り、中学年以降の内容に発展的につなげていけるよう「3年生へのステップアップブック」が掲載されるなど、よく工夫されている。

■日本文教出版「わたしとせいかつ」

単元導入時では、日常の生活体験や既習事項を思い出しながら学習活動を見通す活動が示され、活動と日常生活とを関連付けながら学習が進められるよう工夫されている。また、楽しみや親しみ、驚きを感じながら活動を発展させていけるよう、児童の興味・関心を重視した学習が展開され、振り返りを通して自身の興味・関心の深まりを実感できるよう配慮されている。

単元内の随所に、学習内容を振り返り、次の学びに繋げる「学びのまど」が設定されるとともに、新学習指導要領で示されている3つの観点で整理された学習のめあてが学習内容ごとに示されるなど、学びの連続性を意識できるよう工夫されている。また、生き生きとした表情やダイナミックな構図の実践写真を多く掲載することで、子どもの興味・関心を喚起しているが、

活動の流れや視点が絞られ、児童の多様な思いを引き出すための工夫は十分とは言えない。

話し合いや発表する場面では、思考ツールを活用して情報等を整理している板書を描き、徐々に思考を整理できるよう促すとともに、身振り・手振りなど、児童の動きが感じられる挿絵や児童の作品例を前にした多様な話し合いの形が示されるなど、交流活動の工夫と児童の積極的な表現を促す手立てが示されており、よく工夫されている。また、巻末の「ちえとわざのたからばこ」では、動植物・安全・生活習慣・話型などについて、学習や生活の手がかりを示す工夫が見られる。

他教科等との関連については、表現活動において、音楽や図画工作などとの関連を図りながら学習効果が高められるよう工夫されている。また、乳幼児期の学びを小学校の学習につなぐ入学当初の学習活動のページを設定し、乳幼児期の学びを生かし安心して学校生活を送れるよう工夫されるとともに、３年生以降の学習につながるよう、社会の課題に結びつく内容が取り上げるなどの配慮が見られる。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	信州教育	光村図書	啓林館	日本文教
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1 気付きを引き出す活動や視点の提示	◎	○	○	○	△	○	○	○
		2 学習内容と実生活の関わり重視	○	○	○	○	△	◎	○	○
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1 試行錯誤や繰り返す活動の適切な設定	◎	○	○	○	△	◎	○	○
		2 伝え合い交流する展開や場の設定の工夫	△	◎	△	○	○	○	◎	◎
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。	1 学習や活動への意欲喚起	○	○	○	○	△	◎	△	△
		2 発展的な学習に繋げるための工夫	○	○	○	△	△	○	○	○
4	具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。	1 学習の見通しを持たせるための工夫	◎	△	○	○	○	◎	◎	○
		2 楽しさや満足感、成就感を感じられる主体的・対話的な活動や体験の充実	○	○	○	◎	○	◎	○	○
5	生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。	1 生活上必要な習慣や技能に関する教材や活動	◎	○	○	○	○	◎	○	○
		2 身近な人々や自然、四季の変化に関する教材や活動	○	○	○	◎	○	○	○	○
6	単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1 他教科や教育課題等との関連	◎	◎	○	○	△	◎	◎	○
		2 就学前の体験との関連や他学年との接続	○	○	○	○	△	○	◎	○
		3 家庭・地域との連携	○	○	○	◎	○	○	○	○
7	基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1 人権教育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 道德教育の推進	○	○	○	○	○	◎	○	○
8	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○	○	○

【生活】観点別資料

【選定の観点1】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○児童やキャラクターの豊富な発言を通して気付きや思考のヒントを提示するとともに、「学びをふかめる」では、児童が話し合う姿を通して、自身の気付きを確かなものしたり、関連付けたりすることができるなど、よく工夫されている。 ○身近で取り組みやすい学習活動や教材が重点的に取り上げられており、生活をよりよいものにしていく思いや願いを実現することができるよう工夫されている。	○児童やキャラクターの発言を通して、気付きのヒントを与えたり、思考を促したりするなど、体験や活動の過程で自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう、工夫されている。 ○児童の生活圏にあるものを学習対象とし、単元の導入では、子どもの思いや願いを基に学習がスタートすることで、実生活との関連を意識できるよう工夫されている。	○児童の発言を通して、気付きのヒントを与えたり、思考を促したりするなど、活動や体験の過程で自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう、工夫されている。 ○単元の学習段階に応じた、複数の素材や教材、具体例を示すことで、児童の実態、興味に応じて選択できるよう配慮されている。	○体験や活動の過程で自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう、特に気付きを重視する単元冒頭を「気付く」ための学習段階と位置づけ、マークで明示するなど、工夫されている。 ○地域の習慣や行事に目を向ける活動や資料が示され、児童が生活や身近な地域に目を向けられるよう工夫されている。	○紙面上の児童の発言が少なく、教師やキャラクターによる問いかけもないため、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付かせるための工夫が不十分である。 ○地域の習慣や行事に目を向ける活動や資料が示されているが、特定の地域や環境に限定されるものであり、本市での生活体験から乖離しているため、使いづらい。	○気付きを引き出すポイントが、写真やイラストと重ねた児童の発言例で示されており、活動のイメージから自然に自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう工夫されている。 ○児童が自己の経験や生活の実態に即して活動し、知識や技能が身に付くような単元の流れとなっており、学びの振り返りなどを通して自然に日常生活に生かせるようよく工夫されている。	○児童や担任、キャラクターの発言を通して、体験や活動の過程で自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう、工夫されている。 ○冬に関する単元では、雪と風の両方を取り扱うなど、地域の実態に合わせた学習を選択できるよう配慮されている。	○児童やキャラクターの発言、また、「学習のめあて」を通して、気付きのヒントを与えたり、思考を促したりするなど、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ等に気付くことができるよう、工夫されている。 ○単元導入時では、日常の生活体験や既習事項を思い出しながら学習活動を見通す活動が示され、活動が日常生活と関連付けながら進められるよう工夫されている。

【選定の観点２】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
２ 東書	４ 大日本	１１ 学図	１７ 教出	２６ 信教	３８ 光村	６１ 啓林館	１１６ 日文
○単元冒頭で「なにがつかれるかな」などの問いかけが示されるとともに、学習活動例は児童が「見つける」「くらべる」などの気付きにつながるまでの様子を示しているなど、すべての単元が試行錯誤しながら思いや願いを実現する学習活動で構成されており、優れている。 ○単元内に「分かったことを話し合おう」「ありがとうの気持ちをつたえよう」等の小単元を位置付けて交流活動の様子を示しているが、表現方法を豊富に示すための工夫が不十分である。	○ものを作る活動では、工夫した教室環境を示したり、児童が調べたり表現したりする様子をイラストで示したりすることで、試行錯誤しながら表現を選択できるよう工夫されている。 ○交流の様子をイラストや写真で示すとともに、「せいかつことば」のコーナーでは、雨の降り方や歩く様子を表す擬音語や擬態語を紹介するなど、表現を豊かにする手がかりを示し、充実した交流活動が展開されるようよく工夫されている。	○全体を通して「見つける」「くらべる」「たどる」「試す」「見通す」「工夫する」等の活動例が、イラストで示され、また、秋の遊びや動くおもちゃの単元では試行錯誤を行う場面が意図的に設定されるなど、児童が考えて行動する手がかりとなるよう工夫されている。 ○４人の主要な児童の交流場面や巻末資料を通して、伝え合う姿や方法を示すなど、児童の交流活動を促しているが、豊かな表現方法等を提示する工夫が不十分である。	○上下巻通して成長に合わせた子ども目線のキャラクターが登場し、キャラクターと自身の成長を重ね合わせることで、探究意欲が深まるよう工夫されている。 ○話し合い活動の例として、児童の作品を示しながら、話し合いの流れや内容などの具体例を示すことで、様々な交流の仕方を想起することができるよう工夫されている。	○写真やイラストなどで具体的な活動が示されているが、思考を促す活動が見えにくく、カードなども同じ様式で統一されていたりするなど、子どもの試行錯誤や繰り返して取り組む意欲を促すための工夫が不十分である。 ○児童が対話する様子を表すイラストでは、話している内容を文字のみで表すのではなく、文字と児童の動作や想像している吹き出し等のイラストとを併用して、伝えようとしている内容を想起させるなどの工夫が見られる。	○どうすれば花が元気に育つかなど、単元の活動に関連した知識や技能を示す「どうすれば」のコーナーを設け、子ども自らが問題解決の手がかりをつかみ、思考力を育むよう工夫されるとともに、試行錯誤の過程や問題解決の例が豊富に示されており優れている。 ○グループやクラスで話し合う姿や、気付きを表現したカード例、児童の発言例を示すことで、児童が表現の手がかりを掴み、交流する活動を促しやすいよう工夫されている。	○おもちゃの単元や町探検の単元などでは、児童の興味や関心を重視して、繰り返し対象と関わったり、試行錯誤したりする活動が豊富に掲載されている。 ○伝え合いや交流の場面では、ブース形式で調べたことを伝える活動など、多様な形態が示されており、児童、教員ともに、伝え合う場面のイメージを持つことができるよう工夫されており、優れている。	○話し合いや発表の様子を描いた教室のイラストでは、思考ツールを活用して情報等を整理している板書を描き、試行錯誤しながら徐々に思考を整理できるよう工夫している。 ○身振り・手振りなど、児童の動きが感じられる挿絵や児童の作品例とともに教室での多様な話し合いの場面が示されるなど、交流活動の工夫と児童の積極的な表現を促す手立てが示されており、よく工夫されている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○単元冒頭で、A4版のページをダイナミックに使って、学習内容を想起させる表情豊かな写真を示すことで、活動や体験への意欲を喚起するよう工夫されている。 ○単元末の「やってみよう」では、学習内容と関連することを日常生活で実践することを促している。また、野菜を育てる単元では、単元末に「秋や冬にもそだてよう」という活動が示されており、学んだことを発展的に実践するための指導を展開しやすい。	○単元冒頭の見開き全体で、学習内容や活動を想起させる大胆な構成の写真を示したり、同じ景色の写真やイラストをモノクロとカラーで連続して示し、色の変化で児童の関心を引き付けたりするなど、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 ○町探検で訪れた場所に、休日に行ってみたり、学校で活動したことを家族と共に活動したりすることを促すなど、学びを生かして生活を豊かにできるよう工夫されている。	○単元冒頭では、表情豊かな臨場感あふれる写真を提示するとともに、活動のポイントを児童が疑問形で伝え合う挿絵を示すなど、活動の内容や流れを分かりやすく示し、子どもの活動意欲を引き出すよう工夫されている。 ○生き物に触れ合う単元では「子ガエルを飼うかどうか」に揺れる児童の様子を示すなど、児童の思いや願いを軸にした自己決定の場を示すことで、学んだことと日常生活を関連付けて探究意欲を高めることができるよう工夫されている。	○校外での活動や対話によって考えを広げたり深めたりする活動において、自分自身で活動方法や調べることを決めたり選択したりする場面を設けるなど、主体的に学ぶ意欲を喚起するよう工夫されている。 ○学習内容を家庭生活等に生かすための具体的な手立てがみられず、工夫が不十分である。	○活動意欲を高めるよう、教科書の見開き全面に単元を象徴する写真や挿絵を掲載しているが、児童の多様な思いや願いが実現される学習の流れになるような工夫が不十分である。 ○学習内容を家庭生活等に生かすための具体的な手立てがみられず、工夫が不十分である。	○単元名、小単元名が児童の活動意欲を喚起するような言葉で示されるとともに、活動の流れや内容を分かりやすく示したり、写真やイラストを効果的に配置したりするなど、児童の学習意欲を喚起するよう、よく工夫されている。 ○野菜を育てる単元末で「秋からそだてるやさしい」が提示されるなど、一部の単元では、学んだことを発展的な学習に向けた指導を展開しやすい。	○単元冒頭の「わくわくボックス」で、学習内容に関する資料が示されているが、活動の内容や方法が限定的に示される傾向があり、児童の多様な思いや願いを受ける点での工夫が不十分である。 ○各単元末の「ひろがるきもち」では、「町のためにできることをつけたいな」と提示されるなど、発展的な学習に向けた指導を展開しやすい。	○生き生きとした表情やダイナミックな構図の実践写真を多く掲載することで、子どもの興味・関心を喚起しているが、活動の流れや視点が絞られ、児童の多様な思いを引き出すための工夫が不十分である。 ○町探検や野菜を育てる単元末では、「もっと知りたい」「秋冬野菜に挑戦する」など、実生活での活動を促すよう提示されており、発展的な学習に向けた指導を展開しやすい。

【選定の観点4】

具体的な活動や体験を通して、自立し、生活を豊かにしていくための資質・能力の育成に向け、身近な生活に関わる見方・考え方を生かした学習活動が展開しやすいこと。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○学習の各段階において、体験したことを表現する場面が頻繁に設定されており、体験と表現を繰り返しながら、次の活動に主体的に取り組むという流れを重視した単元構成となっており、優れている。 ○子どもの知的好奇心を満たすために、巻末などに豊富な資料を用意し、学んだことを生かして自分の課題を解決しやすいよう工夫されている。	○児童の活動例や発言例を豊富に示して学習が深まるよう工夫されているが、単元を通した学習の流れをイメージしにくく、学習の見通しをもたせるための工夫が不十分である。 ○児童目線の写真や、表情や動作と共に学習の様子を伝える写真が多く掲載され、児童の好奇心と意欲を引き出すとともに、体全体を使って対象と関わることを促すよう工夫されている。	○単元が「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」の4段階で構成され、単元内の各ページにも学習段階が明示されるなど、単元を通して学習の見通しをもてるよう工夫されている。 ○単元の各所で子どもの学習意欲を喚起する写真を掲載し、課題を解決したり、考えを広げたり深めたりする様子をイメージすることで、学習への期待感を持てるよう工夫されている。	○学習を通して引き出したい力を「きづく」「かんがえる」など6つの力に分類し、学習内容ごとに重視する力をマークで示すなど、学習の重点事項を意識できるよう工夫されている。 ○知りたいことを整理したり、「見付ける」「比べる」等の学習活動を要所に示し、子どもの探究したい気持ちや課題意識を引き出し、最後に「まんぞくはしご」や振り返りなどで成就感を味わえるようにしており優れている。	○地域に密着した教材や資料を示し、身近な生活感を持ちながら、児童同士の学び合いや情報交換が進むよう、単元構成が工夫されている。 ○自然豊かな地域で、豊富な動植物や地域の伝統行事等に関わりながら、体験と表現を重ねることで、活動の楽しさや満足感につながるように工夫されている。	○単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、単元冒頭では、3段階の具体的な活動と共に単元学習の流れが提示されている。また、単元内でもどの段階の学習であるかが明示されるなど、学習の見通しをもつことができるようよく工夫されている。 ○各単元の振り返りをシールに表し、巻末には、そのシールを集め、成果を視覚的に感じられるよう、「ジャンプ大しゅうごう」が設置されるなど、成就感を持ちながら振り返る活動が重視されており、優れている。	○単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元内の各ページにも学習段階が明示されるとともに、見開きページ右下には次の活動に繋がるリードが明示されるなど、活動の連続性や広がり、深まりを意識できるようよく工夫されている。 ○単元末の振り返りでは、自らの成長や学びの深まりを実感できるチェックコーナーが設けられ、次の活動への意欲が高まるよう工夫されている。	○単元内の随所に、学習内容を振り返り、次の学びに繋げる「学びのまど」が設定されるとともに、新学習指導要領で示されている3つの観点で整理された学習のめあてが学習内容ごとに示されるなど、学びの連続性を意識できるよう工夫されている。 ○楽しみや親しみ、驚きを感じながら活動を発展させていけるよう、児童の興味・関心を重視した学習が展開され、振り返りを通して、自身の興味・関心の深まりを実感できるよう工夫されている。

【選定の観点5】

生活上必要な習慣や技能を育てることなどが適切に配慮されるとともに、地域の伝統行事等を通じた四季の変化や自分と身近な人々、社会及び動物や植物等の自然との関わりに関する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○巻末に学習に必要な知識や技能を掲載した「べんりてちょう」と、実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」が設けられ、学習を通して実生活でも活用できる習慣や技能を身に付けられるよう工夫されており、優れている。 ○季節のくらしに関する特設コラムでは、春夏秋冬の街の様子、祭りや節句、季節ごとの動植物を写真やイラストで示すことで、地域や四季、自然の変化や豊かさを意識できるよう工夫されている。	○巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、観察の視点や公共のルール、調べ方や伝え方などが具体的に示されており、学習活動や日常生活において活用できる技能を身に付けられるよう工夫されている。 ○秋の色をモノクロとカラーの写真で対比させて示したり、地域の人と関わる場面を写真で具体的に示したりして、児童が人々や自然、四季を実感できるよう工夫されている。	○巻末の「学び方図鑑」では、「話す」「聞く」「考える」「書く」「発表する」など、活動にあたって必要な技能が示されており、日常生活においても生かせるよう工夫されている。 ○「どんなあそびができるかな」「なにをつくろうかな」など、楽しく豊かな表情で遊んでいる子どもの写真を使って、季節の変化を実感できるよう工夫されている。	○巻末の「学びのポケット」では、「見よう 考えよう」や「しらべよう」など、活動にあたって必要な技能が示されており、日常生活にも生かせるよう工夫されている。 ○町の同じ場所の様子をその時に行われる行事と合わせてそれぞれの季節ごとに掲載し、四季の変化を見比べることで、より実感を持って、四季を感じるができるよう、よく工夫されている。	○学習内容に即して、イラストや吹き出しで、安全面での配慮事項や挨拶、話し方などが具体的に示されるなど、自然に実践できるよう工夫されている。 ○郷土食や伝統行事、また自然の中での季節の遊びを意識的に取り上げ、地域の人たちとの会話場面も示すことで、郷土や四季のよさに気付けるよう、工夫されている。	○巻末の「せいかつじてん」では、イラストを用いて、あいさつやことばづかい、公共ルール、生活リズムなどについて示されており、生活上必要な習慣や技能が自然と身に付くよう、よく工夫されている。 ○地域の人々に関わる場面や公共施設での活動の場面などが扱われており、児童の生活経験と結び付けながら、身近な人々に興味関心をもって学習できるよう工夫されている。	○単元内の「こんなときどうしよう」などでは、基本的な知識及び技能やマナー、安全に関する注意事項が示され、学習や生活で生かせるよう工夫されている。 ○「きせつだより」によって季節ごとの年中行事等が示されており、四季や伝統文化を感じられるよう工夫されている。	○巻末の「ちえとわざのたからばこ」では、動植物・安全・生活習慣・話型などについて、学習や生活の手がかりを示す工夫が見られる。 ○季節ごとにフィールドワークの仕方を提示し、活動の流れを分かりやすく提示することで、季節の変化を実感しながら身近な地域活動ができるよう工夫されている。

【選定の観点6】1枚目

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○豊かな対話に向けた工夫や、ものの長さを比べる手法など、活動内容と関連する他教科等の学習内容や技能が、単元内の枠組みで示されるなど、他教科等と関連付けた指導が展開しやすい工夫されており、優れている。 ○乳幼児期の学びを意識しながら、入学当初の合科的・関連的な学習活動の様子を具体的に示したり、3年生以降の学習との接続を意識した具体的な事例を示したりするなど、学びの接続に向けた配慮がなされている。	○単元内で示された児童の活動例の中で、特に他教科等との関連が深いものについては、教科名が明示されるなど、生活科と他教科の相互の関連を意識した指導が展開しやすい工夫されており、優れている。 ○乳幼児期に慣れ親しんだ活動を取り入れ安心できる環境づくりを意識しながら、合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成が可能となる構成となっている。また、3年生以降の学習についてもこれまでの成長を振り返り、児童が自信をもって臨めるよう工夫されている。	○話す、聞く、書くなどの国語的要素を重視し、手紙や作文を書く活動や表現活動を通して他教科との関連を図るなどの工夫が見られる。 ○入門期単元では、学校生活における子どもの不安な場面とその対処法を示したり、自分でできることに自信を持てるような場面を記載したりするなどの配慮がなされている。また、中学年以降の学習の素地を養うことができるように配慮されている。	○各教科等の内容で整理された「学びのポケット」で、他教科等の学習に関連する知識や技能、図書が紹介されるなどの工夫が見られる。 ○就学前の姿や乳幼児期の学びと各教科への円滑な移行についてイラストで具体的に示し、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定などをイメージできる構成としている。また、3年生の学習を見に行く活動を設定したり「はってん」で学習のつながりを明示したりするなど、中学年以降の学びに配慮している。	○情報機器を活用した活動や発表の場面を示している。一方で、他教科との関連を意識させる工夫が見られない。 ○入学期の子どもの発達の特徴を考慮し、遊びや活動を重視して総合的に授業を展開できるようにしているが、上巻巻頭で小学校生活の様子を具体的に示したり、入学後の意欲や安心感を与えたりする点での工夫が不十分である。	○アサガオの種を数える写真や飼育している動物を粘土で作る活動など他教科との合科的・関連的な指導の具体を随所に示すとともに、道徳的な意識が自然と芽生えるよう道徳科との連携も意識されており、優れている。 ○乳幼児期の学びを小学校の学習につなぐ入学当初の学習活動を位置付け、子どもが安心感と自信、期待感をもって学校生活を始められるよう配慮し、さらに中学年以降の学習に結び付けていける活動を豊富に示している。	○各教科等の学習で育成を目指す資質・能力との関連を考慮し、学習活動の充実を図る工夫が見られ、他教科等との関連がある活動には合科的・関連的な学習活動を示すマークを付すなど、よく工夫されている。 ○巻頭のスタートブックの配置に加え、入学当初だけでなくその後の単元においても乳幼児期の育ちを生かすよう工夫されている。また、生活科の学習を振り返り、中学年以降の内容に発展的につなげていけるよう「3年生へのステップアップブック」が掲載されており、優れている。	○表現活動において、音楽や図画工作などとの関連を図りながら学習効果が高められるよう工夫されている。 ○乳幼児期の学びを小学校の学習につなぐ入学当初の学習活動のページを設定し、乳幼児期の学びを生かし安心して学校生活を送れるよう配慮されている。また、3年生以降の学習につながるよう、社会の課題に結びつく内容が取り上げられるなど、工夫されている。

【選定の観点6】2枚目

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また就学前の体験との関連や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○多様な家庭環境に配慮した活動内容が選択されたり、地域の人々と関わって見つけたよさを発信する例を挙げたりしており、優れている。また、生活科の意義や乳幼児期の力をどのように発揮するかが伝わるよう、保護者に向けての文章を掲載している。	○生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載するとともに、学校のことを家庭で報告する場面を適宜設けている。また、様々な家庭環境、家族構成を例示し、画一的な家族の形の例示とならないよう配慮している。	○地域のお年寄りとの関わりや、家庭の大人との関わりから、身近な社会の人々へと視点の広がりを意識した構成となっている。また、生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載している。	○生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載するとともに、生活科の学習について、家庭で話したり生かしたりできるよう、単元末に家の人と交流するコラムを設けている。また、地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料を豊富に掲載するなど、よく工夫されている。	○生活科の学習について、家庭で話したり生かしたりできるよう、冒頭からキャラクターの家族を登場させ、触れ合いの場面を要所に掲載したり、地域の慣習や行事に目を向ける活動や資料を豊富に掲載するなど、工夫されている。	○生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載しており、保護者と一緒に確認しておきたいことや生活科での学習を日常生活の中で生かしたいことについて示すとともに、地域の人々との関わりを深める活動を豊富に取り入れるなど、工夫されている。	○授業のできごとを家庭で伝える様子や地域の活動に積極的に取り組む様子、地域の方や保護者、PTAなどの協力を得ながら安全に活動している様子をイラスト等で示すとともに、生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載するなど、工夫している。	○生活科の意義が伝わるよう、保護者に向けての文章を巻頭に掲載している。また、地域との関わりが分かりやすいページ構成となるよう工夫されている。

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示されていることで、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○紙面枠囲みの「やくそく」や巻末資料「かつどうべんりてちょう」において、児童が意識しやすいようにマナーやルールなどについて提示するなど、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童を位置付け、高齢者や妊婦、幼児、地域で働く人々などに関わる姿が写真や挿絵の中で示されていることで、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○巻末資料「がくしゅうばこ」では、挨拶や電車・バスでのマナーやルールなどに関する児童の意識を高めることができるように記載するなど、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示され、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○教師や児童の対話の場面において、他者を思いやり、認めたりする発言が示されており、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示され、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○巻末資料「学びのポケット」では、道徳科との関連について明記され、マナーやルールなどに関する児童の意識を高めることができるなど、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示されていることで、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○地域に生まれ育つ児童が四季を通してその場所に関わったり、動植物と継続的に関わったりする場面を多用し、郷土愛や生命尊重などについて意識しやすいなど、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示され、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○挨拶や礼儀、生命尊重やマナーを守ることなどについて、活動に即した具体的な場面を挿絵で豊富に示し、道徳的視点について児童が自然に意識できるよう工夫されており、優れている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童や車いすの児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示され、多様な人が使いやすい街の工夫や施設についてまとめて取り上げたりすることで、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○町探検の単元内に設けられた「こんなときどうしよう」では、活動にあたって気を付けるべきマナーやルールに関して記載されるなど、道徳的視点についても配慮されている。	○クラスに外国にルーツをもつ児童を位置付け、幼児や高齢者と関わったりする姿が写真や挿絵の中で示されていたり、多様な人が使いやすい街の工夫や施設についてまとめて取り上げたりすることで、多様な人々と自分の生活とを結び付けられるように配慮している。 ○町探検の単元内や巻末資料「ちえとわざのたからばこ」では、マナーやルール、物を大切に使うことなどが記載されるなど、道徳的視点についても配慮されている。

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名							
2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	26 信教	38 光村	61 啓林館	116 日文
○小単元名や本文等を定位置に配置することで、読みやすくしている。 ○読みやすさを配慮してユニバーサルフォントが使用され、文節で分かち書きがされている。 ○紙面がA4版と大判化されており、見やすくなっている。 ○自社開発の軽量用紙（再生紙）や植物油インキを使い、環境に配慮している。	○活動中の生き生きとした児童の自然な表情の写真を数多く掲載し、活動意欲を高められるよう工夫されている。 ○ユニバーサルフォントを使用し、ほとんどの漢字にルビがふられるなどの配慮がされている。 ○アジロ綴じを使用し、安全に奥までよく開くようにしている。 ○植物油インキを使い、環境や化学物質に過敏な児童に配慮している。用紙は軽量で目の疲れにくいものを使用している。	○記号やマーク表示が少なく、写真と吹き出しが多くシンプルで見やすくなっている。 ○色使いに配慮されている。 ○紙面が大判化されており、見やすく印刷されている。 ○表紙は厚い用紙を使い、汚れなどに配慮し、他は軽くて強度の高い用紙が使用されている。	○文章は簡潔な言葉で、イラストは正確で分かりやすい資料性の高いタッチで表現されている。 ○色使いへの配慮やユニバーサルフォントの使用により、見やすい。 ○紙面が大判化されており、鮮明で正確な色使いで見やすく印刷されている。 ○裏移りしない軽い紙（再生紙）や植物油インキを使い、環境に配慮している。	○細部まで細かく描かれたイラストが、大きく見開きになっており、子どもたちの興味をひく工夫がなされている。 ○色使いに配慮されている。 ○紙面が大判化されており、見やすく印刷されている。 ○再生紙、植物油インキを使用して環境に配慮している。	○複数の写真やイラストの境界線、写真等の上の文字に、白い影をつけることで、見分けやすい。 ○色使いへの配慮やユニバーサルフォントの使用により見やすい。 ○表紙はラミネート加工され、折れにくく、製本は堅牢である。 ○植物油インキや環境に負担の少ない紙を使い、環境に配慮している。	○小単元名やカード例など、要素の位置が固定されて書かれているため、見やすい。 ○読みやすさを配慮してユニバーサルフォントが使用されている。 ○紙面サイズが小寸になっていることと角を丸くしていることから、子どもたちが親しみやすい。 ○再生紙や植物油インキを使い、環境に配慮している。	○上巻巻頭は、紙面の角を丸くして、1年生が親しみをもてるよう工夫されるとともに、下巻巻末の点字は「盛り上がり印刷」で凸部分を作り、触って学習できる加工がされている。 ○単元ごとにイメージカラーとアイコンを設定し、どの単元のどの場면을学習しているかが分かりやすくなっている。 ○植物油インキや表面加工など、環境や化学物質に過敏な児童に配慮している。